



GIDR.ai
GUIDED INTELLIGENCE

企業向けAIプラットフォーム どう選ぶ？

失敗しないための11の選定ポイント



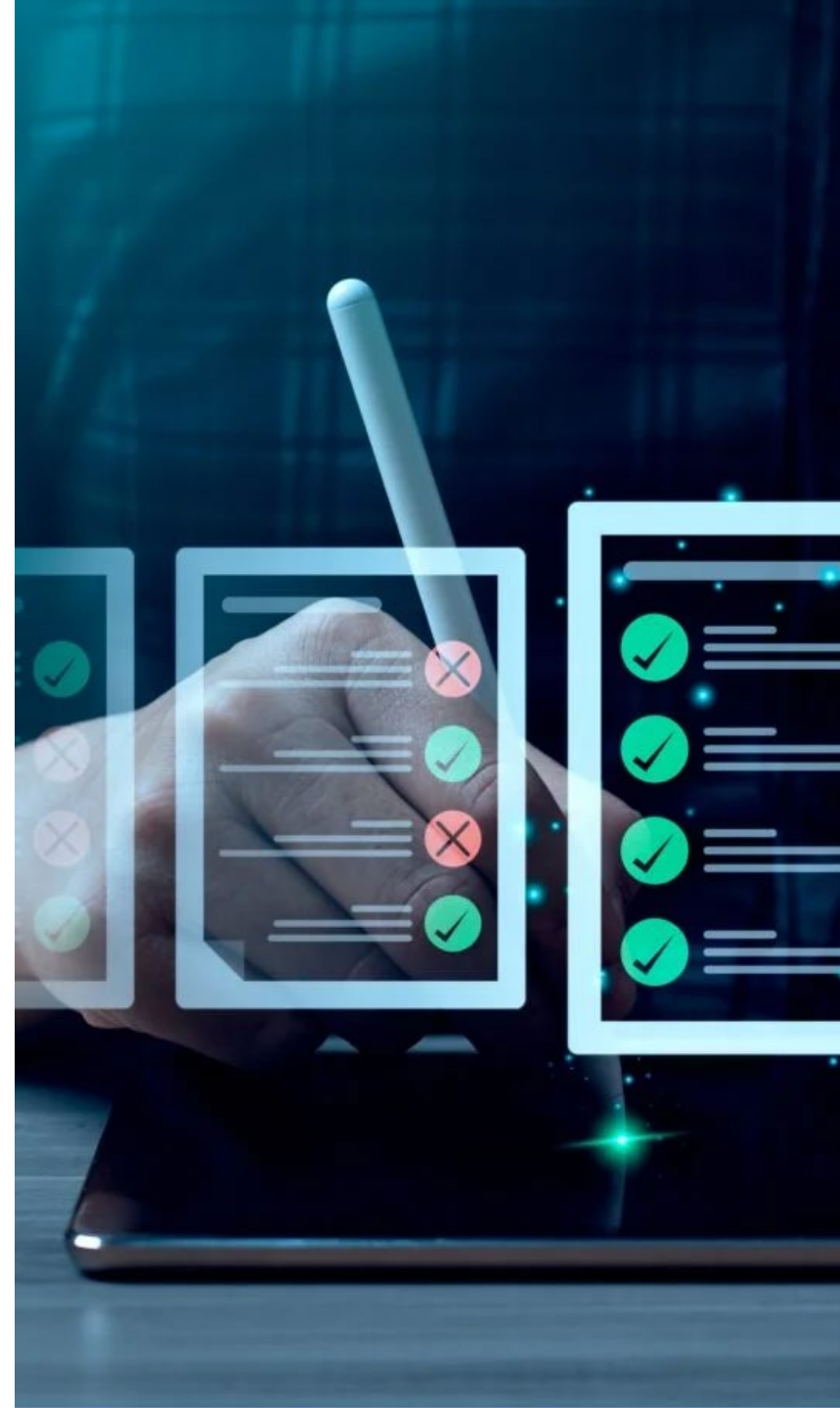
Introduction

はじめに

AIの活用がビジネスの現場で急速に進む中、「まずは無料のAIツールを試してみよう」と考える企業も少なくありません。しかし、その選択が思わぬリスクを招く可能性があることをご存じでしょうか？

無料の生成AIツールは手軽で便利な一方で、企業の機密情報が外部に漏れるリスクを伴います。多くのサービスでは、利用規約の中で「入力データが学習に利用される可能性がある」と明記されており、気づかぬうちに重要な情報が第三者に渡ってしまうことも。また、無料ツールのセキュリティ対策は十分とは言えず、サイバー攻撃の標的となるリスクも無視できません。

そこで本資料では、企業向けAIプラットフォームの導入を検討している皆様に向けて、**失敗を避けるための11の選定ポイント**をご紹介します。適切な選択をすることで、**情報漏洩のリスクを最小限に抑えつつ、AI活用の効果を最大化**できます。



目次

Agenda

- 01 企業向けAIプラットフォーム導入のメリット
- 02 失敗しないための11の選定ポイント
- 03 GIDR.aiが選ばれる理由
- 04 最後に



01

企業向けAIプラットフォーム導入のメリット

Advantages



01 企業向けAIプラットフォーム導入のメリット

Advantages

総合型AIプラットフォームと特化型AIプラットフォームの中間に位置する企業向けAIプラットフォームを導入することで、次のようなメリットが得られます。



短期間で導入可能 & コスト削減

開発に必要な環境がすべて整っているため、スピーディーな導入が可能で、開発コストも抑えられます。



NO-CODE

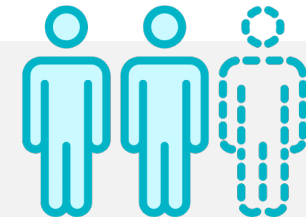
ノーコードで運用可能

IT人材が不足している企業でも、専門知識がなくても直感的に活用できます。



スモールスタートが可能

クラウドサービスなら拡張性に優れており、小規模なプロジェクトから段階的に導入できます。



人材不足の解消

定型業務やデータ処理を自動化することで、現場の負担を軽減し、労働力不足に対応できます。

02

失敗しないための11の選定ポイント

Selection points



02 失敗しないための11の選定ポイント

導入後に「こんなはずではなかった…」と後悔しないために、以下の選定ポイントを必ずチェックしましょう。

01



ハルシネーション対策は万全？

AIが誤った情報を生成する「ハルシネーション」を防ぐため、RAG技術の採用が不可欠です。製品を選ぶ際には、RAGの運用を丁寧にサポートしてくれる製品を選ぶとよいでしょう。

RAGとは：Retrieval-Augmented Generationの略で、LLMに加え、自社のデータベースにある製品情報も検索させ、精度の高い回答を生成させることができます。



GIDR.aiはRAG技術を搭載し、精度の高い回答を提供 & 運用を手厚くサポートします。

02



LLMの切り替えは可能？

それぞれに得意分野を持ったLLMを切り替えて使えると、自社に最適なLLMを選択でき、リスク管理にも役立ちます。

LLMとは：大規模言語モデル Large Language Modelの略で、膨大なテキストデータを用いてディープラーニング技術で訓練された自然言語処理モデルです。



GIDR.aiは、主要なLLM(Open AI、Gemini Pro、Claude、Llama LLM)に加え、ローカルLLMにも柔軟に切り替え可能です。

02 失敗しないための11の選定ポイント

03

セキュリティ



プライベートクラウドで運用できる？

導入する製品がパブリッククラウドだけでなく、プライベートクラウドでも運用可能か確認しましょう。

プライベートクラウドとは：自社専用のクラウド環境を提供するサービスで、高度なセキュリティや、独自のカスタマイズを施すことが可能です。



GIDR.aiは、プライベートクラウド環境にもインストール可能です。

04

ROI向上



FAQの自動生成は可能？

分散しがちな社内ナレッジを効率的に活用するために、FAQの自動生成は便利です。また、AIで自動生成されたFAQを、人間がチェックし編集できるか※ チェックしましょう。

※ ヒューマンインザループで設計されている製品



ヒューマンインザループ：[こちら](https://blog.cba-japan.com/human-in-the-loop/)をご覧ください。
<https://blog.cba-japan.com/human-in-the-loop/>



GIDR.aiは、FAQの自動生成 & 簡単な編集機能を搭載！

02 失敗しないための11の選定ポイント

05



セキュリティ

外部の解析サイトへ データ送信を禁止できる？

情報漏洩を防ぐため、外部へのデータ送信を制御できる機能があるか確認しましょう。問題が起きたり、調査が必要になったりした場合にのみ制限を解除するといった使い方ができる製品は便利です。



GIDR.aiには、外部解析サイトへのデータ送信をブロックする機能があります。

06



導入後の運用サポートは？

AIプラットフォームを社内に定着させるためには、導入だけでなく、運用フェーズでのサポート体制が整っているかも重要です。サポートがあることで、導入した製品のポテンシャルを最大限に引き出せます。

運用サポートがあると、「AIがうまくデータを学習してくれない」「新機能をどう活用したらわからない」といった悩みを解消できます。



GIDR.aiは売り切り製品ではありません。導入後も定期的にコンサルティングを行います。

02 失敗しないための11の選定ポイント

07



ROI向上

紙データなどの構造化は可能？

AIに学習させるデータの構造化には多くの企業が苦心しています。紙媒体やPDFデータもAIが学習できるよう、構造化をサポートする機能があると便利です。

GIDR.aiは、国際連合との取引実績を持ち、大量の紙資料のデジタル化プロジェクトを成功させています。



GIDR.aiは、PDFや紙データの構造化にも対応！

08



ROI向上

メンテナンスは簡単？

カスタマイズ性が高いAIプラットフォームは、社内の情報システム部によるメンテナンス、管理、バグ対策が必要となります。高度なITスキルや専門知識がなくても簡単にメンテナンスができる製品を選びましょう。メンテナンス負担を軽減できるなら、リソースを他の重要な業務に集中させることができます。



GIDR.aiは、ユーザーフレンドリーなインターフェースにより、誰でも簡単にシステムの設定や更新が可能です。

02 失敗しないための11の選定ポイント

09



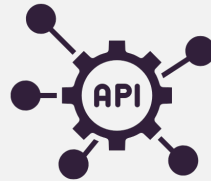
ROI向上

UIは使いやすい？

企業向けAIプラットフォームで多く利用される機能がチャットボット機能です。できるだけチャットボットのUIが見やすい製品がおすすめです。

▶ GIDR.aiでは、「簡潔な回答」「詳細な回答」「参照元の資料」の3つが表示され、直感的でわかりやすいインターフェースが採用されています。

10



ROI向上

API連携は可能？

API連携が可能であれば、既存のCRMなど、さまざまなシステムと統合し、効率的に運用することができます。一方で、API連携ができない場合、「情報が分散したまま」や「ナレッジがサイロ化したまま」の状態が続いてしまうため、注意が必要です。

▶ GIDR.aiは、API連携でCRMなどのシステムと簡単に統合可能です。

11



ROI向上

MSオフィス文書のインポートは？

AIプラットフォームの種類によっては、Microsoft Office製品で作成された文書（Word、Excel、PowerPoint）をそのままの形式で直接インポートする機能が備わっていない場合があります。

▶ GIDR.aiは、様々なMicrosoft Office文書の直接インポートに対応しています。

03

GIDR.aiが選ばれる理由

Why GIDR.ai?



03 GIDR.aiが選ばれる理由



Why GIDR.ai?

GIDR.aiは、安全で効果的なAI活用を実現するための最適なプラットフォームです。



柔軟なカスタマイズ性

企業のニーズに応じて自由にカスタマイズ



最新AI技術の活用

常に最新の技術を取り入れたPaaS型プラットフォーム



充実のサポート体制

専門家による導入・運用サポート付き



高いセキュリティレベル

情報漏洩リスクを抑えるマスキング機能搭載



API連携 & マイクロサービス対応

既存システムとの統合が容易



様々なフォーマットに対応

データのフォーマットに縛られずに処理が可能



自動化による業務効率化

定型業務やデータ処理を自動化し人件費を削減するとともに生産性を向上 企業はリソースをより戦略的に活用可能に

04

最後に

Conclusion



04 最後に

AI導入は企業の未来を左右する重要な決断です。無料のAIツールは手軽に試せるものの、情報漏洩のリスクやROI（投資対効果）の不透明さが大きな懸念となります。一方で、適切な企業向けAIプラットフォームを選べば、セキュリティを確保しながら効率的にAIを活用し、競争力を高めることが可能です。本資料でご紹介した「AI導入を成功に導く11のチェックポイント」を基に、貴社に最適なAIプラットフォームを選定することで、安全かつ効果的なAI運用が実現できます。こうした要件を満たすGIDR.aiは、ROIの向上を支援し、企業のAI活用を次のステージへと導く強力なパートナーです。まずは、ぜひお気軽に弊社にご相談ください。【ご相談フォームはこちらから→ <https://gidr-ai.cba-japan.com/>】

- ✓ AI導入の専門コンサルタントが貴社の課題を整理し、最適なAI活用プランをご提案
- ✓ 導入前のご相談から、導入後の運用支援まで伴走型サポートをご提供



株式会社コミュニケーションビジネスアヴェニューについて

幅広いプラットフォームの自動化とソリューションを提供する、非上場の総合コミュニケーションソリューションインテグレーターおよびサービスプロバイダーです。最先端のオムニチャネル、AI技術、その他のソリューションを導入し、ビジネスコミュニケーションの課題を解決するイノベーションを実現します。

コミュニケーションビジネスアヴェニュー（CBA）は、親切でホスピタリティに溢れたサービスを使命とし、お客様のビジネスの成長を支援するテクノロジーとビジネスメソッドを提供します。2006年の設立以来、世界35ヶ国・900社以上のお客様に最新のコミュニケーション技術を提供し、サポートしてきました。

オンプレミス、クラウド、モバイルアプリ向けのWebRTCマルチメディアソリューションを含む専門知識と、没入感の高い包括的なクラウドコンピューティングソリューションを活用し、あらゆる業界のコミュニケーションニーズに対応するソリューションを提案しています。



Communication
Business
Avenue, Inc.



GIDR.ai
GUIDED INTELLIGENCE

GUIDED INTELLIGENCE DELIVERED RAPIDLY



**Communication
Business
Avenue, Inc.**

株式会社 コミュニケーションビジネスアヴェニュー

〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘3番4号 YRP 1番館 5F

046-821-3362 (平日 9:00-17:00)

<https://cba-japan.com>